

2024年11月19日

各位

SBSホールディングス株式会社

国内初！量産前提の中古トラックEV化 廃車予定の中古1.5tトラックをEVに改造 ～教習所にて試行走行を実施～

SBSホールディングス株式会社（社長：鎌田正彦、本社：東京都新宿区）は、株式会社IAT（社長：劉劍、本社：愛知県岡崎市）、ヤマトモビリティ&Mfg.株式会社（社長：鈴木昭寿、本社：埼玉県川越市）と協業し、EVに改造した中古1.5tトラックの試行走行を11月16日（土）、SBS自動車学校株式会社（社長：大戸正昭、本社：千葉県千葉市稲毛区）姉崎教習所にて実施いたしました。



背景

SBSグループは、環境にやさしい緑あふれる社会の実現を目指して、2018年より中・長期環境計画「シンシアチャレンジ2030」を推進しています。車両排出CO₂削減強化を重点課題の1つとし、2030年までに中・小型車両を中心に、1,000台程度の車両のEV化を図っております。今後EV車両の保有比率を拡大するにあたり、長期間使用後の中古トラックを有効活用し、投資負担を軽減する観点から、当社グループ会社であるSBSゼンツウ株式会社（社長：池田伸之、本社：東京都新宿区）が所有し、長期間使用されたディーゼルトラックをEV化する取り組みを進めています。IATおよびヤマトモビリティ&Mfg.の両社とは、本年3月以降、中古のいすゞエルフ2tを使用した検証を行っていますが、今回はこれに加えて三菱ふそうキャンター1.5tを使用した検証を開始しました。これらは、量産を前提とした小型ディーゼルトラックのEV改造としては、国内初の取り組みとなります。

今回の中古トラックEV化について

廃車予定であった2012年型「三菱ふそうキャンター1.5t積（FBA00型）」をIATおよびヤマトモビリティ&Mfg.両社がEVに改造しました。ディーゼルエンジンをバッテリーとモーターにシフトし、EVとして走行することで、CO₂を削減し、中古車の再利用を実現します。また、一充電あたりの走行距離など、新車EVトラックと比較しても性能は劣らず、低コストかつ短納期で現場に戻すことができます。

当日の様子・今後の展開

当日は、教習所内コースを周回しながら走行性能や安全性の検証を行いました。今後は、この量産予定車を用いて型式認証を取得し、公道にて貨物積載状態でのモニター走行をする予定です。SBSグループは、サステナビリティ経営強化の方針のもと、当社のEV比率の拡大を進め、環境負荷の軽減に貢献してまいります。

以上

■ご参考

< SBSグループ概要 >

持株会社：SBSホールディングス株式会社（SBSグループ持株会社）

設立：1987年12月

代表者：代表取締役社長 鎌田 正彦

上場：東京証券取引所プライム市場（証券コード：2384）

本社住所：東京都新宿区西新宿8丁目17番1号 住友不動産新宿グランドタワー25階

資本金：39億円

売上高：4,319億円（連結、2023年12月期）

従業員数：22,562名（うち正社員10,903名、連結）

事業内容：SBSグループは、1987年の創業以来、物流ならびに物流に付帯するサービスを充実させ、ワンストップの物流サービスをご提供することで、お客様の利益創造に貢献してまいりました。グループ内には、食品から超重量物までさまざまな商品を扱う企業群、路線、区域、即日配送まで多様な配送形態にお応えできる企業群、そして、物流施設開発、環境物流などの専門的な企業群を有しています。

URL：<https://www.sbs-group.co.jp/>

■本件に関するお問い合わせ先

SBSホールディングス株式会社 IR・広報部

e-mail：contact11@sbs-group.co.jp

ヤマトモビリティ&Mfg.株式会社 管理本部 IR・広報担当

e-mail：contact01@yamato-in.co.jp

※ 当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。